

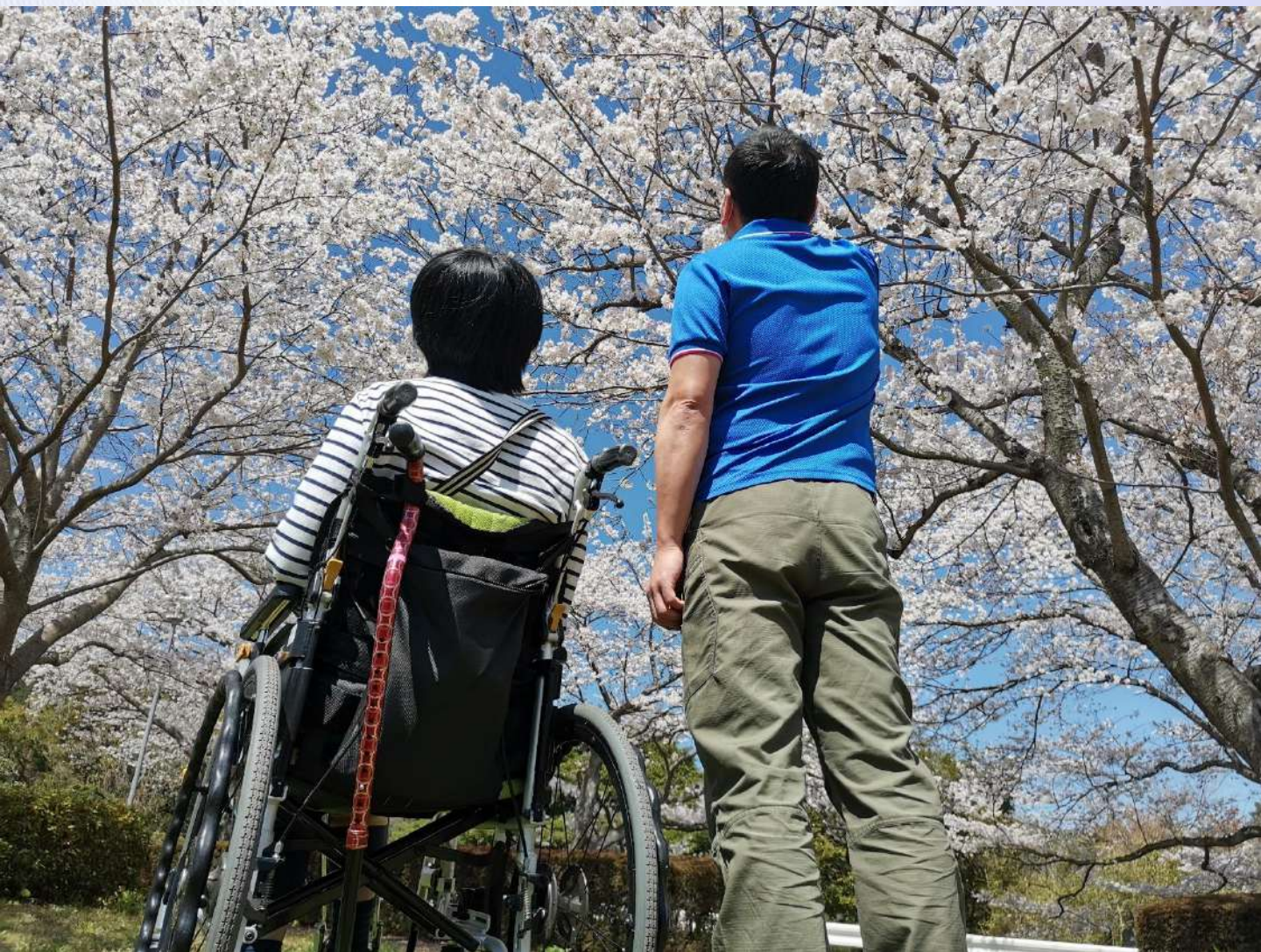
にじだより

NIJIDAYORI

別府リハビリテーションセンター
障害者支援施設にじ 広報誌

第21号

2023年4月



- ▶ お花見に行ってきました
- ▶ 就労移行支援～プレゼン発表会～
- ▶ メモリーノートを活用した訓練
- ▶ にじ卒業生インタビュー

お花見に行ってきました

今年も別府リハビリテーションセンター内にはとても綺麗な桜が咲いたので、移動訓練を兼ねてのお花見に行ってきました。お花見に参加された利用者様からは「きれいですね」「外は気持ちがいいな」「たくさん咲いているんですね」という言葉が聞かれ、自然と表情が和らいでいました。

雨の日や風の日、そして嵐の日も、桜の木はそこにしっかりと立っており、毎年この時期に同じように美しい花を咲かせます。

「にじ」利用者の皆様も予期せぬ病気などに見舞われ、施設生活をされています。それでも、前を向いてリハビリに取り組まれています。

来年の春も桜は同じように咲くでしょう。「にじ」利用者様が、来春はそれぞれの場所で大切な人たちといっしょに笑顔で桜を見ることができますように。



就労移行支援～プレゼン発表会～

「にじ」の就労移行支援は、就職や復職を目指す方へより実践的な訓練を実施しています。

就労移行支援ではプレゼンテーション発表会の機会を提供しており、就職に向けて、自分の症状や配慮していただきたいこと、アピールポイント等をまとめていきます。

自分の障害について、改めて調べ向き合うこと、文字に起こすことは、とてもタフな作業となります。

しかし、**自分自身をよく知り、また職場の方々へご理解いただくことは、お互いが安心した環境で長く働くために必要不可欠なことです。**

そのため「にじ」ではこの取り組みを大切にしております！

作成した資料は職場や支援機関へ提出するなど、周囲の理解を得るためのツールとして活用しています。



《発表の様子》



《質疑応答中の様子、大勢の人の前で発表は緊張しました》

メモリーノートを活用した訓練

障害者支援施設「にじ」には、脳卒中や脳梗塞の影響で、高次脳機能障害を抱える利用者の方が多くいらっしゃいます。
高次脳機能障害には、注意障害・記憶障害・遂行機能障害・社会的行動障害があります。

記憶障害のある利用者の方には、**記憶の代償手段として、メモリーノートを活用する訓練**を実施しています。

1限目の「学習」訓練で、当日の訓練スケジュールを記入します。洗顔・髭そりなどの整容面、食後薬のチェック、朝の血圧の記録や、面談・受診の有無など、生活に関することも一緒に記入しています。



《学習訓練》

訓練の最後には「1日の振り返り」訓練で、メモリーノートに記入した、その日1日の訓練内容を確認していきます。参加者全員が、どの訓練で何をしたのか、発表していきます。司会も利用者の方に行ってもらいます。他利用者の方の発表を聞いて思い出すこともあります。



《振り返り訓練》

実際に使用している「メモリーノート」です。終えたスケジュールはチェックできるように工夫されています。



時間	内容	確認
8:00	起床	✓
8:30	洗顔・髭そり	✓
9:00	朝食	✓
9:30	薬	✓
10:00	学習	✓
10:30	休憩	✓
11:00	学習	✓
11:30	昼食	✓
12:00	休憩	✓
13:00	学習	✓
13:30	休憩	✓
14:00	学習	✓
14:30	休憩	✓
15:00	学習	✓
15:30	休憩	✓
16:00	学習	✓
16:30	休憩	✓
17:00	学習	✓
17:30	休憩	✓
18:00	学習	✓
18:30	休憩	✓
19:00	学習	✓
19:30	休憩	✓
20:00	学習	✓
20:30	休憩	✓
21:00	学習	✓
21:30	休憩	✓
22:00	学習	✓
22:30	休憩	✓
23:00	学習	✓
23:30	休憩	✓
24:00	学習	✓
24:30	休憩	✓
25:00	学習	✓
25:30	休憩	✓
26:00	学習	✓
26:30	休憩	✓
27:00	学習	✓
27:30	休憩	✓
28:00	学習	✓
28:30	休憩	✓
29:00	学習	✓
29:30	休憩	✓
30:00	学習	✓
30:30	休憩	✓
31:00	学習	✓
31:30	休憩	✓
32:00	学習	✓
32:30	休憩	✓
33:00	学習	✓
33:30	休憩	✓
34:00	学習	✓
34:30	休憩	✓
35:00	学習	✓
35:30	休憩	✓
36:00	学習	✓
36:30	休憩	✓
37:00	学習	✓
37:30	休憩	✓
38:00	学習	✓
38:30	休憩	✓
39:00	学習	✓
39:30	休憩	✓
40:00	学習	✓
40:30	休憩	✓
41:00	学習	✓
41:30	休憩	✓
42:00	学習	✓
42:30	休憩	✓
43:00	学習	✓
43:30	休憩	✓
44:00	学習	✓
44:30	休憩	✓
45:00	学習	✓
45:30	休憩	✓
46:00	学習	✓
46:30	休憩	✓
47:00	学習	✓
47:30	休憩	✓
48:00	学習	✓
48:30	休憩	✓
49:00	学習	✓
49:30	休憩	✓
50:00	学習	✓
50:30	休憩	✓
51:00	学習	✓
51:30	休憩	✓
52:00	学習	✓
52:30	休憩	✓
53:00	学習	✓
53:30	休憩	✓
54:00	学習	✓
54:30	休憩	✓
55:00	学習	✓
55:30	休憩	✓
56:00	学習	✓
56:30	休憩	✓
57:00	学習	✓
57:30	休憩	✓
58:00	学習	✓
58:30	休憩	✓
59:00	学習	✓
59:30	休憩	✓
60:00	学習	✓
60:30	休憩	✓
61:00	学習	✓
61:30	休憩	✓
62:00	学習	✓
62:30	休憩	✓
63:00	学習	✓
63:30	休憩	✓
64:00	学習	✓
64:30	休憩	✓
65:00	学習	✓
65:30	休憩	✓
66:00	学習	✓
66:30	休憩	✓
67:00	学習	✓
67:30	休憩	✓
68:00	学習	✓
68:30	休憩	✓
69:00	学習	✓
69:30	休憩	✓
70:00	学習	✓
70:30	休憩	✓
71:00	学習	✓
71:30	休憩	✓
72:00	学習	✓
72:30	休憩	✓
73:00	学習	✓
73:30	休憩	✓
74:00	学習	✓
74:30	休憩	✓
75:00	学習	✓
75:30	休憩	✓
76:00	学習	✓
76:30	休憩	✓
77:00	学習	✓
77:30	休憩	✓
78:00	学習	✓
78:30	休憩	✓
79:00	学習	✓
79:30	休憩	✓
80:00	学習	✓
80:30	休憩	✓
81:00	学習	✓
81:30	休憩	✓
82:00	学習	✓
82:30	休憩	✓
83:00	学習	✓
83:30	休憩	✓
84:00	学習	✓
84:30	休憩	✓
85:00	学習	✓
85:30	休憩	✓
86:00	学習	✓
86:30	休憩	✓
87:00	学習	✓
87:30	休憩	✓
88:00	学習	✓
88:30	休憩	✓
89:00	学習	✓
89:30	休憩	✓
90:00	学習	✓
90:30	休憩	✓
91:00	学習	✓
91:30	休憩	✓
92:00	学習	✓
92:30	休憩	✓
93:00	学習	✓
93:30	休憩	✓
94:00	学習	✓
94:30	休憩	✓
95:00	学習	✓
95:30	休憩	✓
96:00	学習	✓
96:30	休憩	✓
97:00	学習	✓
97:30	休憩	✓
98:00	学習	✓
98:30	休憩	✓
99:00	学習	✓
99:30	休憩	✓
100:00	学習	✓
100:30	休憩	✓

「にじ」は社会復帰のための施設です。自分がいつ・何をしたのか・どのような仕事をどのくらい進めたのかなどご自身で把握することは、生活を送るうえでとても大切なことです。

忘れる度に、毎回ご家族などに尋ねるわけにもいきません。仕事となれば、なおさらです。メモリーノートを活用し、市販のノートや手帳を使いこなすことで職場復帰を果たした方、また新たな仕事へ繋がった方も多くいらっしゃいます。

にじ卒業生インタビュー

にじを利用して、現在復職して頑張っているOさんにお話を伺いました。

Oさんは、県外で仕事をしていたのですが2年前にクモ膜下出血を発症されました。その後、地元の別府に戻り、復職を目標に当センター外来のリハビリを利用していましたが、さらに記憶力の代償手段としてメモリーノートの活用ができるように、にじを利用することとなりました。当初は自宅から通っていましたが、さらに規則正しい生活を送れるようにと途中から入所することを決めます。

訓練を始めたばかりのときは、メモをどこに書いていたかわからなくなったり、疲労もあったようですが、徐々に長時間の訓練やメモの活用も可能となってきました。

仕事復帰にあたっては、にじのスタッフや家族、職場の人事の方と、就業時間、業務内容について話し合い、準備をしていきました。以前の業務内容は複雑だったため、ご本人の能力にマッチしたものを検討していきました。

最初は環境が変わることに不安もあったようですが、簡単な作業でも周りの方に聞くこともあり、「今の場所で働くようにしてよかった」と話されていました。

今では仕事にも生活にも慣れ、就業時間や業務内容が増えたそうです。その都度、自分で分かりやすいようにマニュアルを作り、いつでも確認できるように工夫をしたり休みの日には忘れずに受診に行き、健康管理にも努めているそうです。

「“やることリスト”は、常に思い立った時にすぐにスマホに入力して、その都度確認をしています」とカレンダー機能を見せてくれました。

入所中からもいつも笑顔で訓練に取り組まれていたOさん。これからも頑張ってくださいね。



ご相談・ご質問
お待ちしております！

入所担当：小野



【にじ入所の対象となる方】

社会復帰を目標とされる回復期リハビリテーション病棟を退院された方や地域で生活されている方で

- 18～65歳くらいまでの方
- おおむねトイレが自立されている方
- 常時医療行為が必要のない方
- 集団生活ができる方
- 障害者手帳をお持ちの方、または申請予定の方
- (手帳をお持ちでない方もお気軽にお問合せください)

社会福祉法人 農協共済
別府リハビリテーションセンター
障害者支援施設にじ

〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10
TEL：0977-67-1716 FAX：0977-67-8576
URL：<https://brc.or.jp>

